

# 令和2年度 決算 公表

【問合せ】

行財政経営室 財政課

## 令和2年度決算の概要

令和2年度の各会計の決算が第3回定例市議会において認定されました。

### ◀ 一般会計決算 ▶

歳入 551億6,152万円

歳出 550億5,888万円

■実質収支 1億264万円

一般会計の歳入の総額は551億6,152万円、歳出の総額は550億5,888万円、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は1億264万円となりました。

歳入では、繰入金が73.5%減少しているものの、国庫支出金が163.1%、市債が37.1%増加するなど、全体で前年度比37.7%の増加となっています。歳出では、総務費が290.6%、公債費が42.6%、民生費が2.2%増加し、全体で前年度比38.7%の増加となっています。

令和3年度以降も、社会保障費や公共施設の老朽化対策等への支出と併せて、新型コロナウイルス感染症に伴う歳入歳出両面への影響もあることから、健全な財政運営を持続できるよう、今後も行財政改革の取り組みを進めてまいります。

## 会計別歳入歳出決算額

会計名	歳入		歳出		歳入歳出 差引額
	決算額	前年度比	決算額	前年度比	
一般会計	55,161,516	137.7	55,058,877	138.7	102,639
国民健康保険特別会計	12,519,288	97.2	12,324,493	96.8	194,795
と畜場特別会計	58,967	106.5	58,967	106.5	0
財産区特別会計	1,580,894	96.5	45,740	78.6	1,535,154
介護保険特別会計	10,979,215	103.8	10,523,095	102.4	456,120
土地取得特別会計	364,765	27.8	364,765	27.8	0
後期高齢者医療特別会計	1,907,095	107.6	1,847,753	107.1	59,342

会計名	歳入		歳出		純損益
	決算額	前年度比	決算額	前年度比	
水道事業会計	2,195,693	94.0	1,906,207	100.7	289,486
下水道事業会計	3,350,964	100.2	2,946,803	96.9	404,161

(千円・%)

## 令和2年度 主要事業

### 新型コロナウイルス感染症対策事業《138億6,575万円》

- 特別定額給付金事業 ●羽曳野市民応援給付金事業 ●羽曳野応援商品券事業 ●ひとり親世帯への臨時特別給付金事業 ●子育て世帯への臨時特別給付金事業 ●休業要請支援金事業 ●小学校給食無償化事業 ●中学校給食半額化事業 ●認可保育施設利用者負担額等(保育料・給食費)無償化事業などを実施

### 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」環境整備事業および古墳保存整備事業《6,204万円》

展示説明板の多言語化や外国人用パンフレットの作成など来訪者のための環境整備、応神天皇陵古墳外濠外堤の一部公有化や峯ヶ塚古墳の発掘調査

### LIC ウェルネスゾーンおよびはびきのウェルネス事業の展開《3,562万円》

高齢者や中年層を対象とした介護予防・運動プログラムの実施、健康づくり・介護予防活動の介護予防リーダーの養成

### 成人歯科健診事業《740万円》

若い年代からの口と歯の健康管理の促進と意識啓発を図るべく、成人歯科健診の対象年齢に20歳および25歳を追加

### 猛暑対策事業《1,924万円》

古市駅西駐車場、高鷲駅北側ロータリーおよび上ノ太子駅南側ロータリーのバス利用者のため熱中症の発生を低減させるミストなどを整備

### (仮称)西部子ども未来館の整備と3歳児保育の実施《3億1,598万円》

幼保連携型認定こども園「(仮称)西部子ども未来館」整備に係る工事、子ども未来館たかわし・埴生幼稚園・駒ヶ谷幼稚園に加え、令和2年度からは羽曳が丘幼稚園・高鷲南幼稚園での3歳児保育を実施

### 恵我ノ荘駅周辺整備事業《1億9,751万円》

都市計画道路恵我之荘駅前南側線の歩道整備、駅前南側広場の整備、市道恵我之荘69号線の整備に向けた用地取得の実施

### GIGA スクール構想整備事業《6億8,026万円》

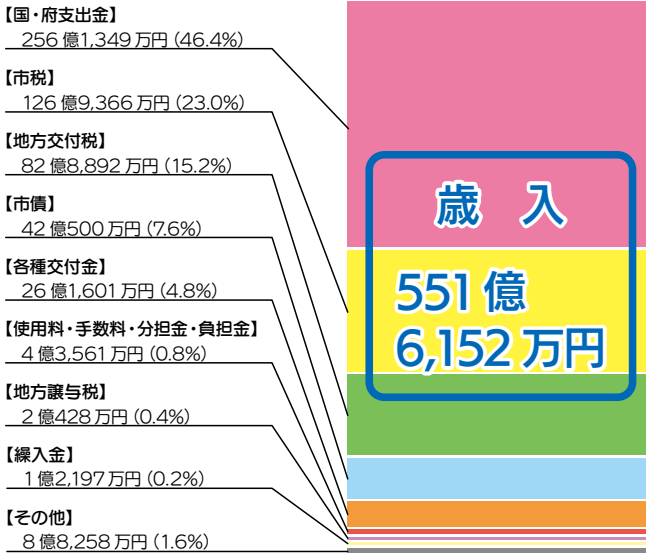
充実した学校ICT環境の構築に向けて、高速大容量の通信ネットワークを整備し、児童・生徒一人1台の端末を購入



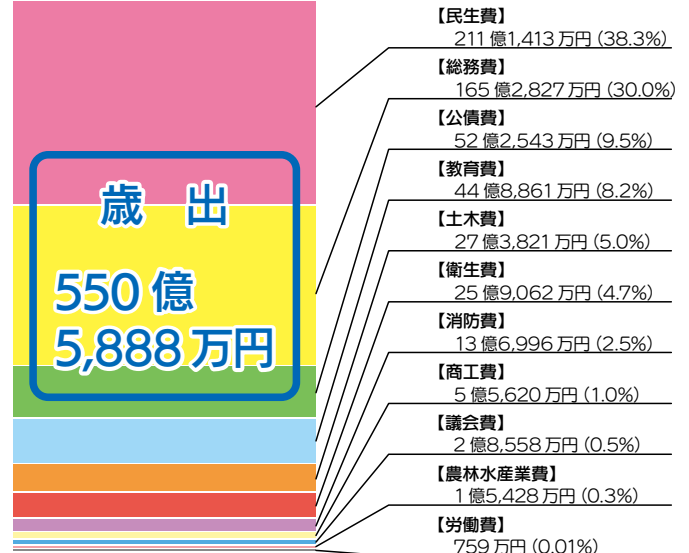
【写真左】応神天皇陵古墳  
【写真右上】(仮称)西部子ども未来館園庭  
【写真右下】ワクチン接種会場の様子



# 一般会計歳入歳出決算の内訳



■市民1人当たりの市税負担額 11万5,597円



■市民1人当たりの歳出決算額 50万1,401円

## 指標でみる羽曳野市の財政状況 ★いずれの指標も基準内となっています

【健全化判断比率】財政の健康状態を表す4つの比率

指標	羽曳野市	⑤早期健全化基準	⑥財政再生基準
①実質赤字比率	赤字額なし	12.16%	20.00%
②連結実質赤字比率	赤字額なし	17.16%	30.00%
③実質公債費比率	4.7%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	5.4%	350.0%	—

※数値が低いほど、健全度が高くなります。

【資金不足比率】企業会計の経営状況の健全度をみる比率

指標	羽曳野市	⑦経営健全化基準
水道事業会計	資金不足なし	20.0%
下水道事業会計	資金不足なし	
と畜場特別会計	資金不足なし	

- ①普通会計（一般会計＋土地取得特別会計）の赤字額より財政の健全度をみる比率
- ②羽曳野市の全会計の赤字額から財政の健全度をみる比率
- ③借入金返済額などの大きさから財政の健全度をみる比率  
※政令市を除く大阪府内の都市平均は3.2%です。
- ④羽曳野市の負債残高から将来の財政の健全度をみる比率  
※政令市を除く大阪府内の41市町村中、21市町村は0%以下です。
- ⑤基準を上回ると、財政健全化計画を立てて、自主的な改善努力が必要  
※「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」の早期健全化基準は、各自治体の財政規模により異なります。
- ⑥基準を上回ると、財政再生計画を立てて、国の関与を受け、確実な再生が必要
- ⑦基準を上回ると、経営健全化計画を定めなければならない

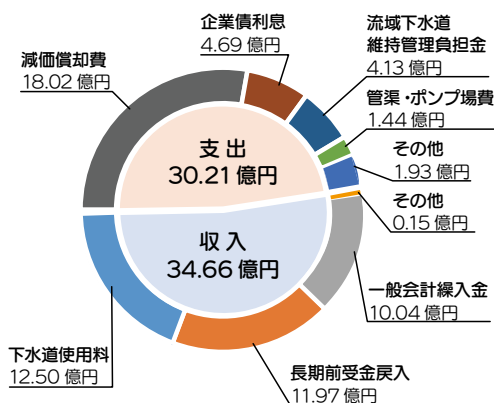


総務省  
ウェブサイト

## 令和2年度 下水道事業の財政状況 (下水道事業会計決算の概要)

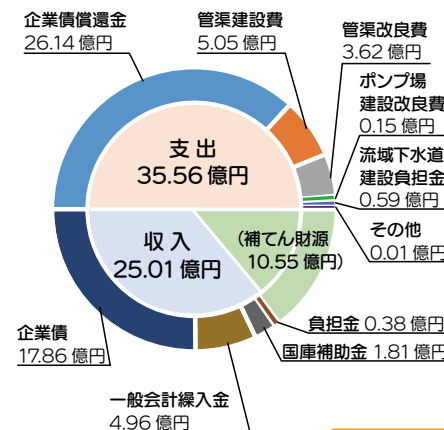
### ①収益的収支 (税込)

～使用後の水を処理場へ送り、適切に処理するための費用と財源～



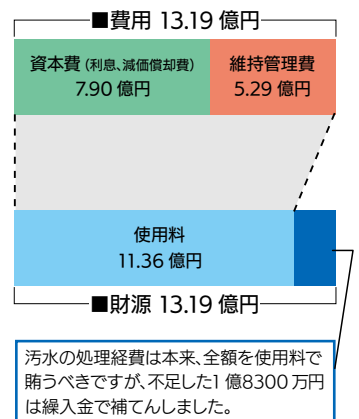
### ②資本的収支 (税込)

～下水道施設の建設や改良のための経費と財源～



### ③汚水処理に要した費用と財源 (税抜)

費用と財源 (税抜)



【問合せ】下水道総務課 総務企画担当